

2018.8.30 金子

「インスピレーションになろう」(No.08)

国際ロータリーの**バリー・ラシン**会長の今年度のテーマは、
『**BE THE INSPIRATION**、**インスピレーションになろう**』です。

その意識として次の訳が言われています。

「感化し励ます人であれ」

「鼓舞する人になれ」

「人の心に火をつけるリーダーになろう」

「ロータリアンの心を奮い立たせよう」

「モチベーションを高めるリーダーになろう」

ラシン会長は、このテーマには次の『**私たちが築きたいと願う**
ロータリー』を表していると説明しています。その願いとは、

『**私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自**
身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取
り合って行動する世界を目指しています』

そして更に、詳しく次の様に説明しています。

- ・ ロータリーで、『**私たちは手を取り合います**』。なぜなら、協力すれば、一人よりもずっと強くなれると知っているからです。
- ・ 『**私たちは行動します**』。なぜなら、ロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。
- ・ 私たちの活動が終わった後にも末永く続く、『**持続可能な変化を生みます**』。
- ・ 世界での変化、地域社会での変化は、私たちが決して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します。

そして、おそらく一番大切なのは、『**自分自身の中での変化**』でしょう。これには、次の**マザーテレサ**の言葉を引用して説明しています。その言葉とは『**世界を変えたいなら、うちに帰って家族を愛しなさい。まずは自分を変えることから始め、そこから外に向けた努力をしなさい**』と。これは、『**ロータリーという組織を支える際に、私たち全員が心に刻むべきことだ**』とラシン会長は言っています。

また、ラシン会長は、次の思いを込めているとも言っています。

その思いとは

『何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたい』との思いだそうです。

それは『手段より、目的や動機を今一度思い出し、確認し、強くし、更に大切にしてほしい』とのこと。

そこで“星の王子様”の著者である“サン＝テクジュペリ”の次の言葉を引用して説明しています。

『船を造りたいなら、木を集めさせたり、作業や任務を割り振るのではなく、“果(はて)し無く続く、広大な海への切望の心”を培うことから始めなさい』。ラシン会長更に、『皆さんの仕事は、船をつくることではありません。より良い世界をつくることです。より良い世界をつくりたいなら、ロータリアンの魂を呼び起こし、その能力と可能性、そして私たち一人ひとりの中にある切望の心を引き出さなくてはなりません』。と説明を加えています。

更に、インスピレーションの直訳である“閃き(ひらめき)”をも含めた、このテーマの個人的な解釈についてお話ししたいと思います。

“閃き”という言葉の意味は、目的を達成する又は課題を解決する過程での、モガキ苦しみ、深い思考、議論や葛藤の末に、自分の頭から突然、湧き出てきた“考え”や“方策”だと言われています。決して、単なる“思い付き”などではありません。

それは、価値ある、且つ実行可能性の高い方策でもあります。しかし、“閃き”は、“そんじょそこら”に、転がって居ないし、真剣さと努力が必要であり、更にある程度の資質が必要とされます。

つまり、ラシン会長の真の意図するところは、『今一度、奉仕活動の“在るべき姿”を求めて、先ず真剣に考え、悩み苦しむ葛藤しなさい、すると自(オノズ)と、“閃き”が湧き出てきます。その“閃き”を持って自分自身、更には周囲のロータリアンや人々に影響を与えなさい』である様な気がします。

以上で、会長の時間を終わります。